

紫波町

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>1 岩手県と市町村が共同で実施する「子ども、妊産婦及び重度心身障害者医療費助成事業」のうち、子どもに対する医療費助成に限定し、国庫補助の支援を要望することについて</p> <p>平成27年10月に策定された岩手県人口ビジョンでは、県における人口減少は今後も進むとされています。県内各市町村とも人口減少に歯止めをかける早期の対策が求められています。</p> <p>子どもの成長過程において、乳幼児期は体調の変化が激しく、子育て家庭が安心して医療を受けられる環境の整備が必要であることから、県におかれましては早い段階から市町村と共同で、子ども医療費助成に取り組んでこられました。</p> <p>このたび策定された地方版総合戦略において、各市町村とも急激な人口減少に危機感を覚え、これまでの子ども医療費助成に単独施策を加えるなど、出生数の減少を緩和させるための努力をしております。</p> <p>しかしながら、地方において人口減少に歯止めを掛けるには、相応の財政負担を必要とし、県内における公平なサービス提供の観点からも、国の財政支援は必要不可欠となります。</p> <p>以上の点から、子ども医療費助成に対する国庫補助の支援について、県が市町村と一丸となって、国に働きかけてくださるよう要望いたします。</p>	<p>子どもの医療費助成については、県では、人口減少対策としての総合的な子育て支援施策の一環として、厳しい財政状況にはありますが、市町村等と協議のうえ、まずは、平成27年8月から助成対象を小学校卒業の入院まで拡大するとともに、平成28年8月からは未就学児及び妊産婦を対象とした現物給付を実施しています。</p> <p>総合的な子育て支援については、「岩手県ふるさと振興総合戦略」を展開していく上で重要な施策であります。子どもの医療費助成は、本来、自治体の財政力の差などによらず、全国どこの地域においても同等な水準で行われるべきであることから、これまで、県の政府予算提言・要望において、全国一律の制度を創設するよう要望してきたところであり、全国知事会からも同様の要請を行っていません。</p>	盛岡広域振興局	保健福祉環境部	B

紫波町

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>2 松くい虫被害枯死経過木対策について</p> <p>当町は、町産木材の利用による森林資源循環を主要施策と位置づけております。</p> <p>松くい虫被害対策につきましては、県や国の事業を活用しながら対策を進めているところでありますが、依然として被害が拡大している状況にあります。</p> <p>こうしたなかで、被害範囲の拡大に伴い駆除が追いつかず、事業が導入できなかつた林地に多くの枯死経過木が発生しており、このような林地と接する住居や農地、道路、水路などにおいては、倒木による事故の危険度が高まり、安全確保に苦慮しているところであります。</p> <p>これに対し、県でも「いわての森林づくり県民税」を活用したアカマツ林の広葉樹林化に取り組まれることとしていることから、制度の拡充を要望いたしますとともに、枯死経過木除去対策について国等に対し働きかけていただきますよう要望いたします。</p>	<p>県では、景勝地、主要道路及び公共施設の周辺において、倒木による施設損壊及び人身被害の予防、景観保全を図るため、被害がまん延した松林で枯損木等を伐採し、広葉樹林への更新を図る「アカマツ林の広葉樹林化事業」をいわて環境の森整備事業のメニューとして創設しましたので、活用について御検討いただきますようお願いいたします。</p> <p>制度の拡充については、今年度のアカマツ林広葉樹林化事業の実施状況を勘案して検討することとしています。</p> <p>国に対しましては、枯死被害木のほか、雪害木や風倒木、被圧木などの処理を含めた松くい虫防除対策事業の創設についても要望しています。</p>	盛岡広域振興局	林務部	A

紫波町

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>3 森林・山村多面的機能発揮対策について</p> <p>森林・林業を支える山村では、過疎化等の進行に伴い、地域住民と森林との関わりが希薄化し、森林の手入れが行われなくなったことで、里山林の荒廃が進行しており、森林の有する多面的機能の発揮が難しくなっています。</p> <p>森林の多面的機能を持続的に発揮させていくためには、山村地域の住民が協力して里山林等の保全管理や森林資源の利活用を実施していく体制を整えることが不可欠となっています。このため国では、平成25年度から森林・山村多面的機能発揮対策交付金を交付し、里山林の保全管理や資源を利用するための活動に対して支援してきました。本交付金は平成28年度で終了しますが、地域住民等による共同活動への機運が高まっていることから、同様の支援を行う事業の創設を要望いたします。</p>	<p>森林・山村多面的機能発揮対策は、森林の保全活動等を行う活動組織に対して、地域協議会を通して国が交付金を交付してきましたが、国の行政事業レビューや財務省からの指摘等により、平成29年度から地方の任意負担を伴う制度に改正される見込みです。</p> <p>このことから、県では、平成29年度当初予算に所要額を盛り込んだところであり、今後は、市町村と一体となって、森林・山村多面的機能発揮に向けた森林の保全活動を支援していきます。</p> <p>なお、県では、いわての森林づくり県民税を活用した「県民参加の森林づくり促進事業」を実施しており、県民自らが地域で主体的に取り組む里山林の再生や活用を図るための森林整備活動、県産材利用促進活動、森林学習活動等に対して助成を行っていますので、活用願います。</p>	盛岡広域振興局	林務部	A
<p>4 仮称「盛岡紫波線」の県道昇格について</p> <p>本路線は、盛岡市内の国道46号盛岡インターチェンジ付近から、矢巾町道、紫波町道、一般県道紫波雫石線を経由して主要地方道盛岡和賀線、紫波インター線に接続する重要な路線となっております。</p> <p>交差点や信号の設置が少なく、非常に利便性が高いことから秋田、盛岡方面から花巻、北上方面へ向かう、特に大型交通量が多い路線となっております。</p> <p>本路線は、物流を担う流通路として利用され、通過交通が多いことから、盛岡圏と花巻、北上圏を結ぶ広域的幹線道路として、早期に県道昇格されますよう強く要望いたします。</p>	<p>県道昇格については、市町村間を結ぶ道路など道路法に規定する認定要件を具備する必要がある、これらの要件を満たした路線について、地域の道路網における市町村道との機能分担や、整備・管理する必要性等を総合的に判断した上で行うこととしています。</p>	盛岡広域振興局	土木部	C